

◆クエスト
魔族と内通していると噂の
田舎領主を調査せよ

よくぞ参られました
導師様

長旅でさぞ
お疲れでしょう

良い苗床に
なりそうだ…

ポン…

はい？

宴の準備ができて
おります故ごゆるりと
休まれるがよろしい

あー…いや
長居するつもり
ないんでホント

そうおっしゃらず
みな久々の上質な
獲物…間違えた

客人を歓迎して
おりますので

これもう
クロでええやろ
やっちまうか

いやはや導師様が
協力的で助かります

え……？

あれ？

その格好も
よくお似合いですよ
彼らも大層喜んでます

ありがとうございます
ございます……

なあと
取って食おうという
わけではありません

貴方の魔力が枯渇するまで
彼らを増やす手伝いを
していただきます

わかりました……

- ◆領主はニューイに催眠を仕掛けた
- ◆ニューイは混乱している
- ◆領主はニューイに淫紋の呪いをかけた

◆漂っていた触手が膣内に入り込む
◆淫紋の効果によりニユイの身体は容易く受け入れた



んおっ!?♡

おや?

すんなり
入りましたね

ほっ♡

ふん

ふん

少々軽減されて
いるようですが

おっ♡

淫紋の効果が
保たれているようで
安心致しました

ズル
ズル

にちゅ

にちゅ

◆触手は更に深く侵入するため
入口付近をほぐすように蠢いている
◆意識の乱れにより神々の加護の
効果が薄れ始めた

- ◆触手は催淫液を塗りつけながらニユイの奥へと潜り込む
- ◆淫紋との相乗効果で感度が更に上昇

んじいッ♡

ふ…深っ…!!
不快な筈なのに
体が勝手に…♡

とっくッ

ふー♡

ニユル

とっくッ

ふー♡

やばいやばい!!
耐えなきゃ!

意識が乱れたら
加護の効果が…!!

正気を保つのに
必死という
様子ですね

訪れた時の
勝気な表情が
嘘みたいですよ

ホ

フッ♡

ッ

ぐっほ

ぐっほ

- ◆触手の魔力吸収と性的刺激により加護の効果は更に薄れ続ける

- ◆触手がニューイの口腔内に侵入
- ◆喉奥に媚毒を流し込む準備を始めた



んもあッ!?

グッホッ

んー!!

おえッ!

べろ

ぐはあ

彼らの粘液は媚薬として
非常に優秀でして

これが中々高く
売れるのです

まあ強力すぎて通常は
薄めて使うのですが…

修練を積んだ導師様を
組み伏せるには
丁度良いでしょう

ドチュッ

ドチュッ

ずちゅッ

ずちゅッ

- ◆触手リップ、ヒトデ型触手が現れた
- ◆ニューイの乳首に狙いを定める
- ◆触手の一部が直腸へ侵入した

- ◆触手の一部がニューイの視界を塞いだ
- ◆全神経が快樂の為だけに集中するように誘導される

仲良くしてて
くださいね

ではまた後ほど

- ◆体内へ侵入した触手は絶えず媚毒を撒き散らしながら蠢動を繰り返す
- ◆ニューイの感度は極限まで引き上げられている



◆魔力の循環はとうに崩壊していた

◆加護は失われ催眠に抵抗する力は残されていない

◆その身に残された豊かな魔力を触手達に捧げる苗床へと成り果ててしまった

お疲れ様です
一段落ついたようですね

体を休めたらまた彼らと
遊んでもらいますよ

卵はもう産み付けましたが
正気に戻られては
幼体の育成に効率が悪いので

…聞こえてないか



- ◆数カ月後——
- ◆散々触手に弄ばれたニューイにはもう魔力は残されていない

媚びた仕草も随分
板についてきましたね

下品でも
綺麗ですよ

だぶん

だぶん

苗床としてはもう
使い物になりませんが

我々で責任を持って
面倒見ますので
安心して下さい

しゃん

しゃん

- ◆もはや催眠を振り解く事は不可能だろう
- ◆かつての快活さは欠片もなく
人格は大きく改変されてしまった

腕利きの白魔導師が
今や見る影もありませんな

そんな貴方に
ある画家の
金言を送ります

「聖職者って
堕ちるモノなんだよ」

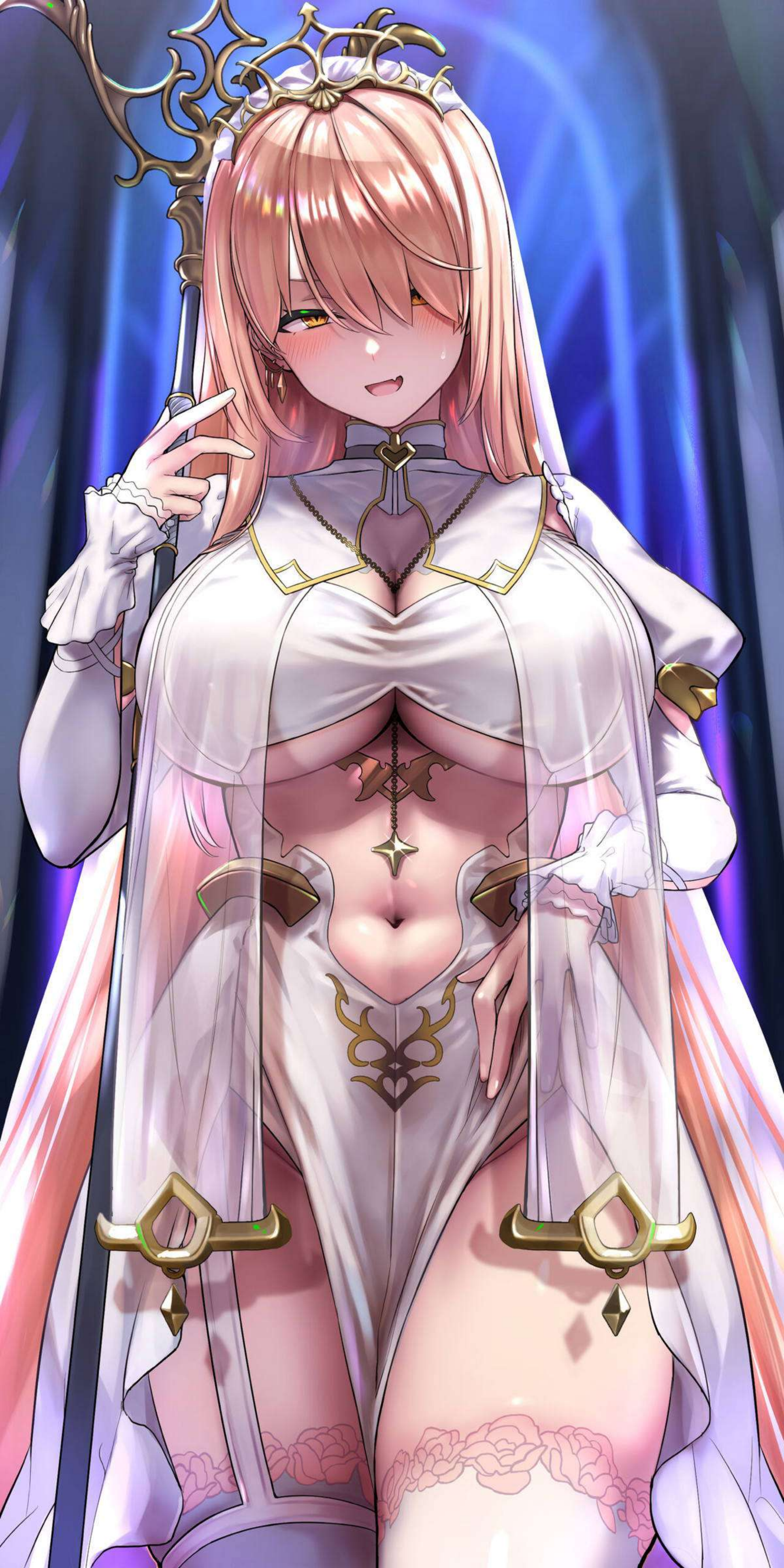
がく

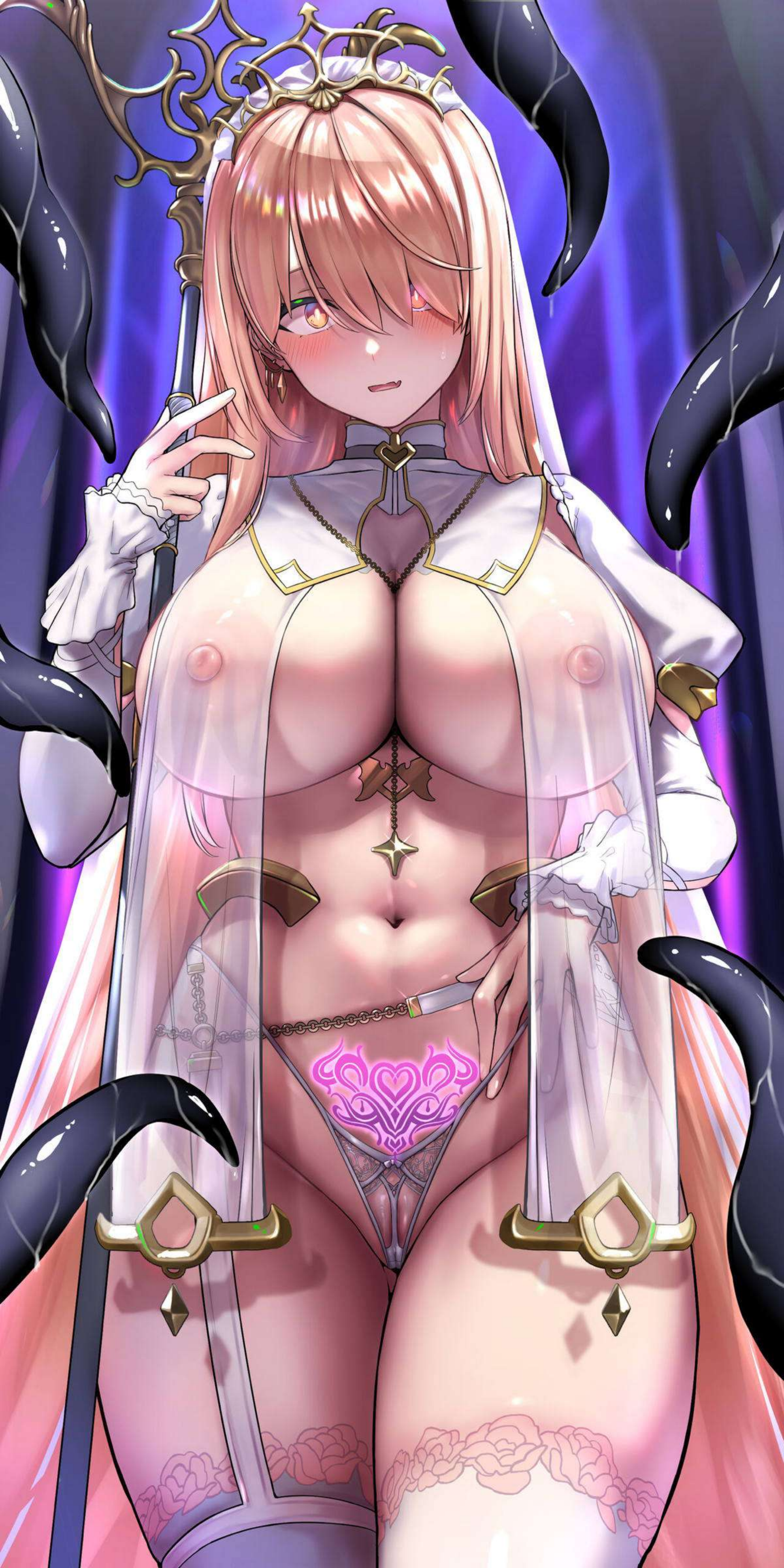
ふひひ

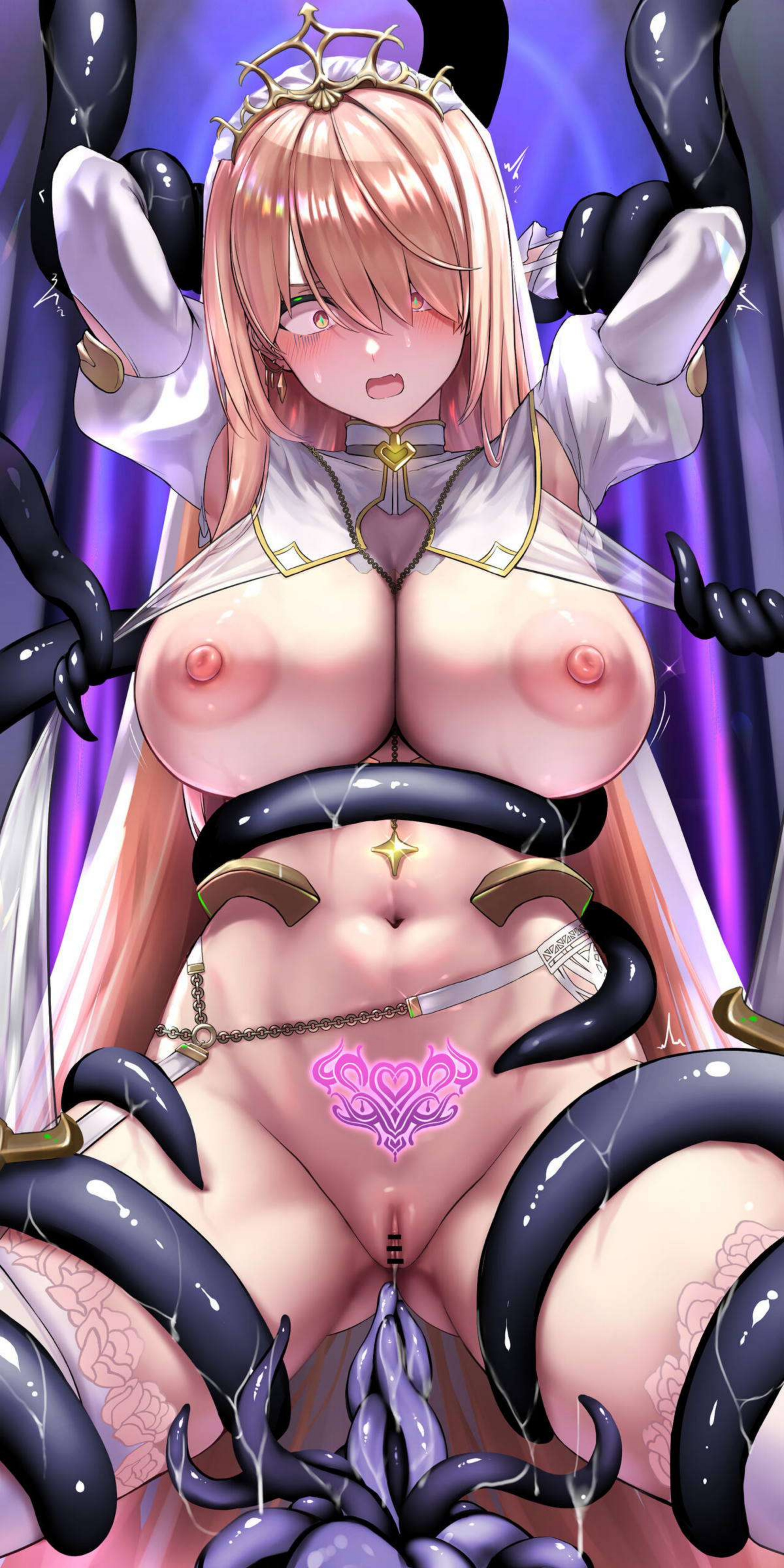
ポポ

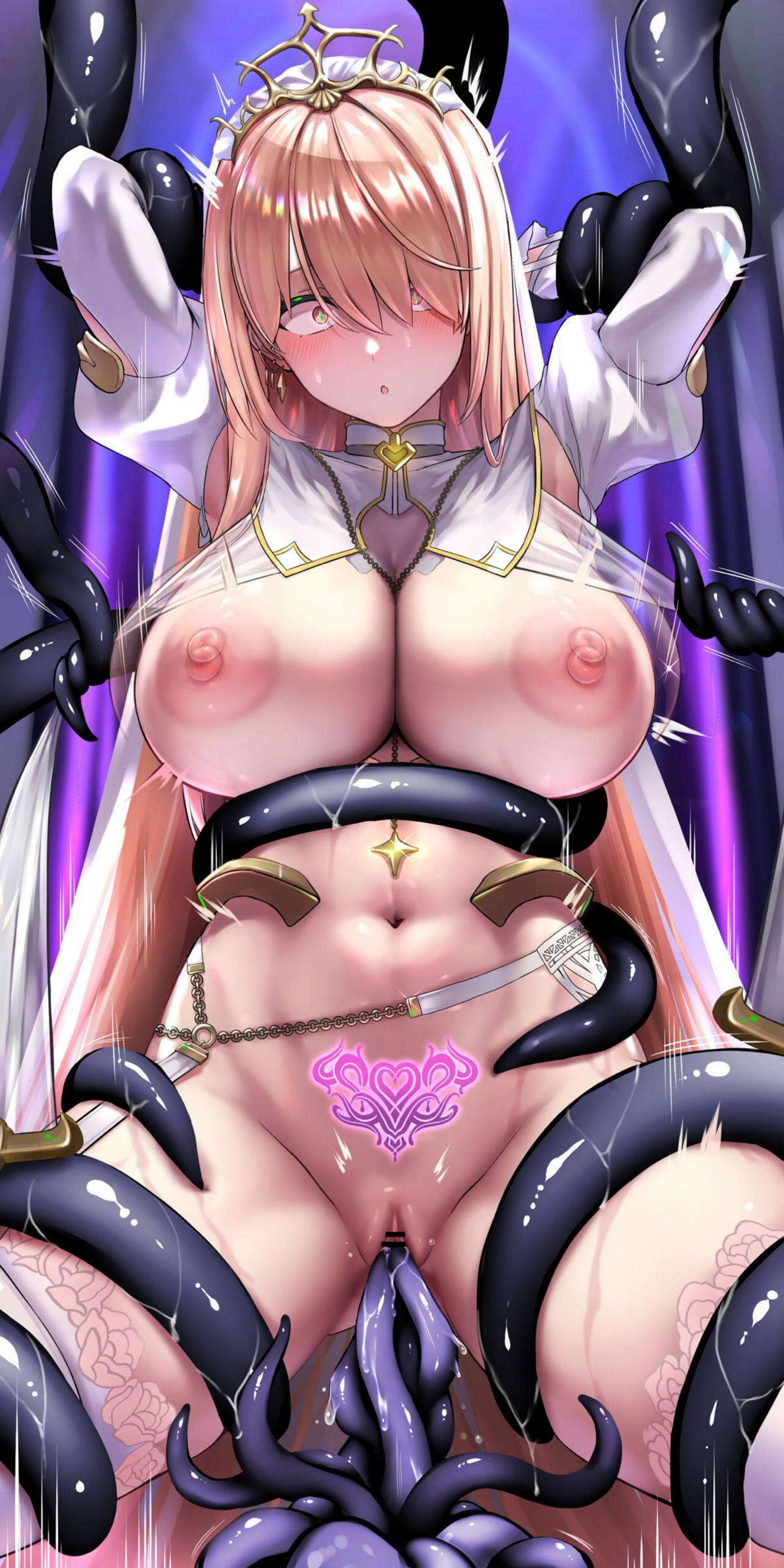
がく

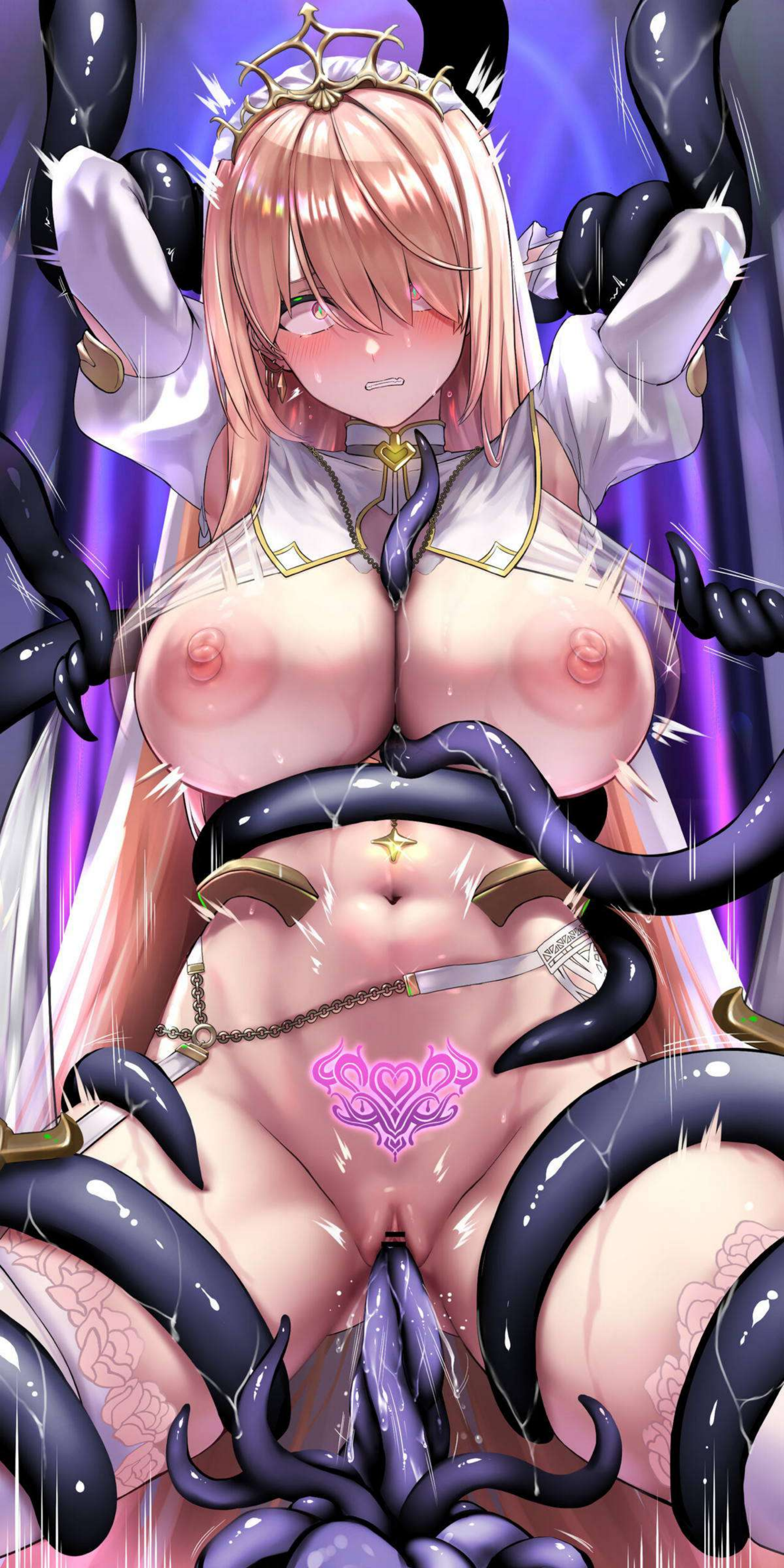


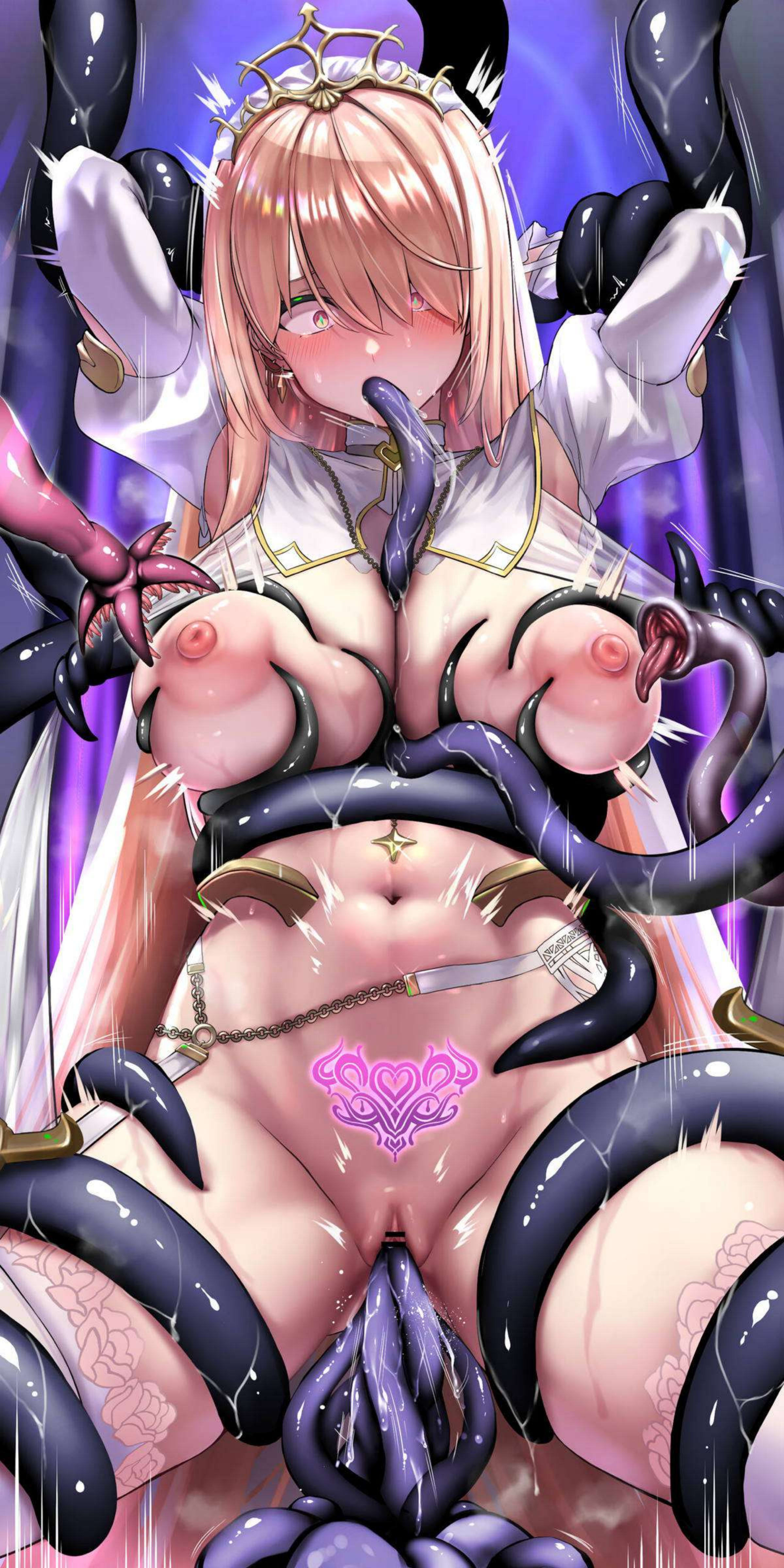


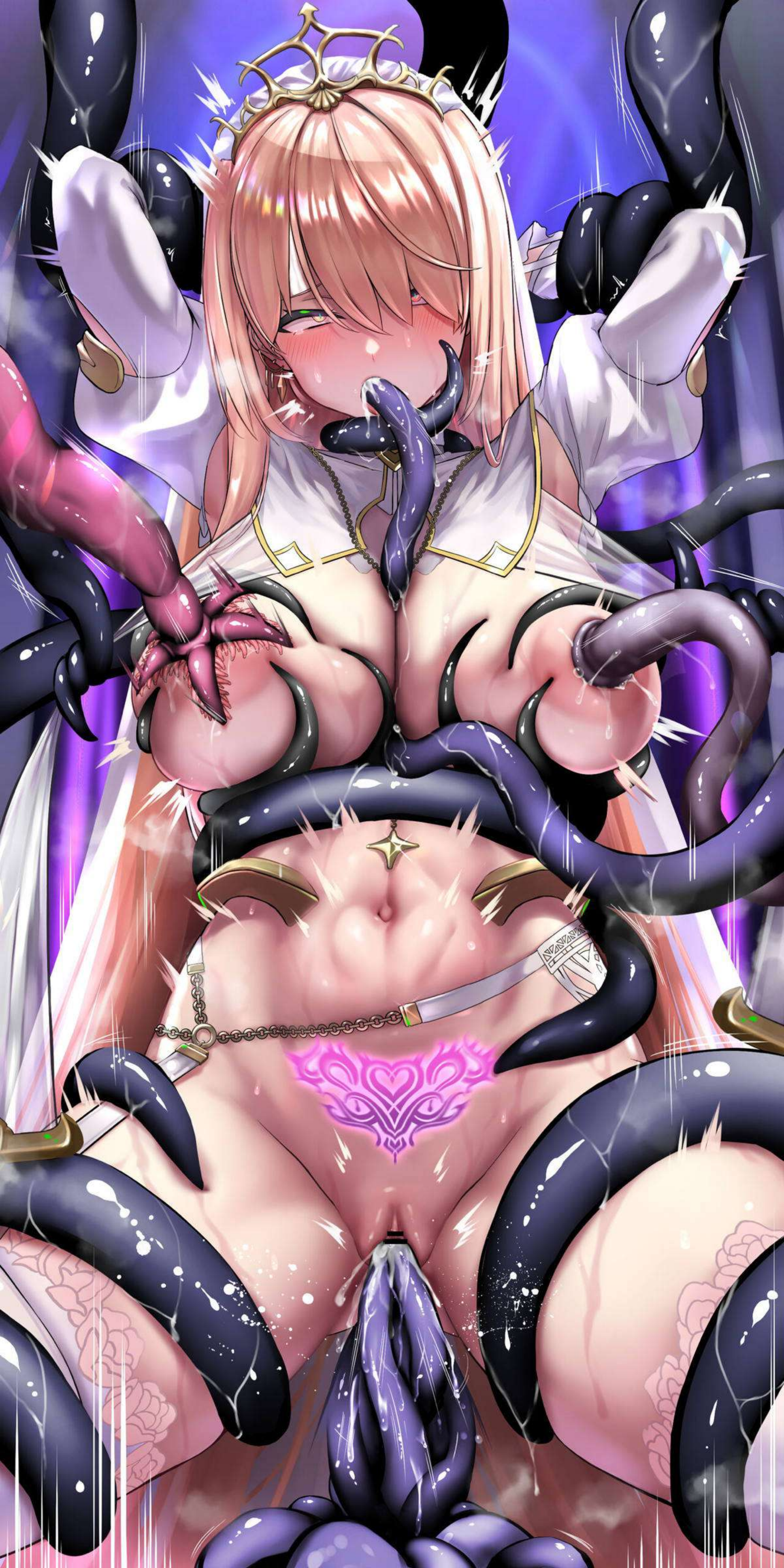


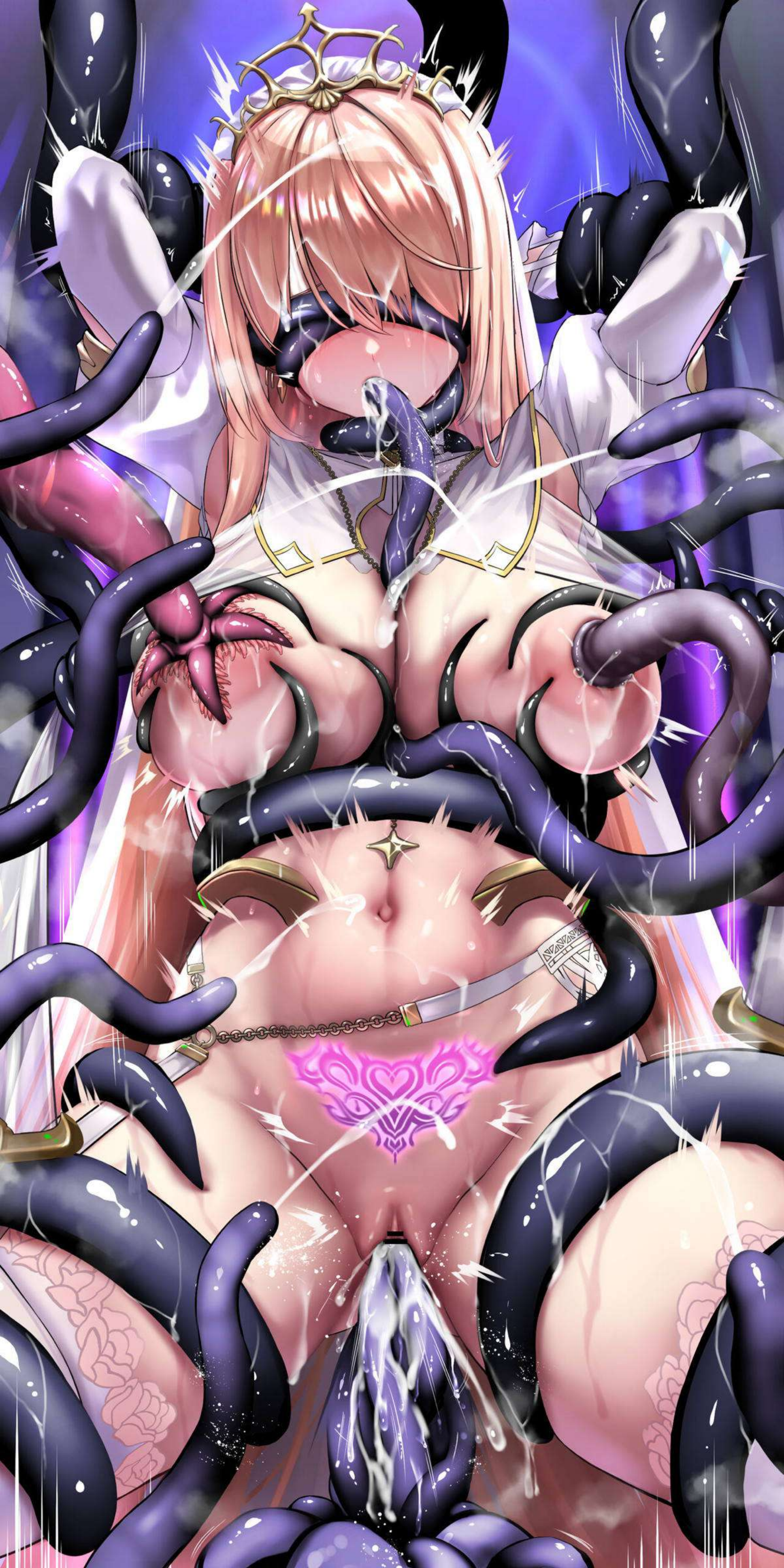


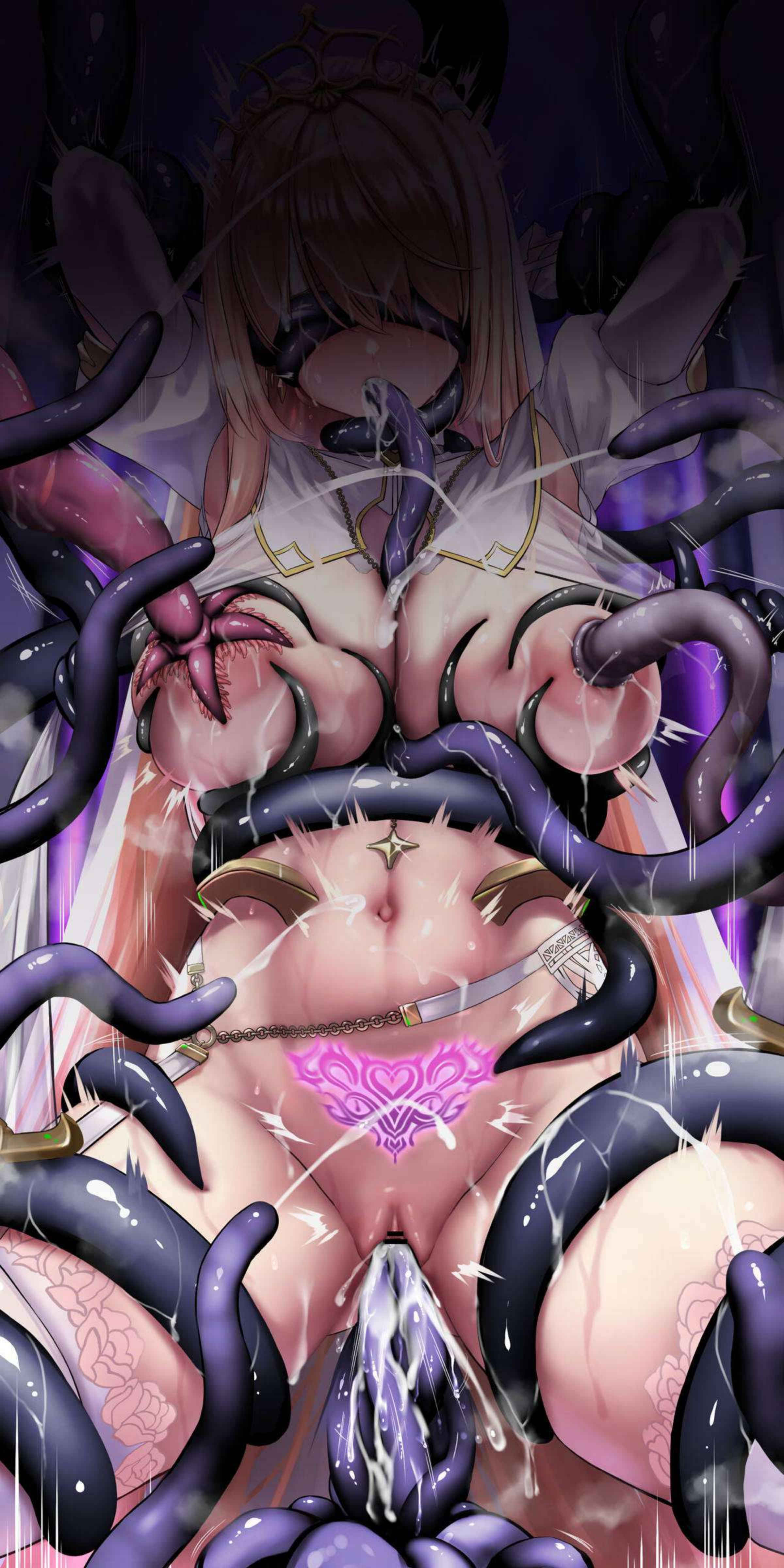


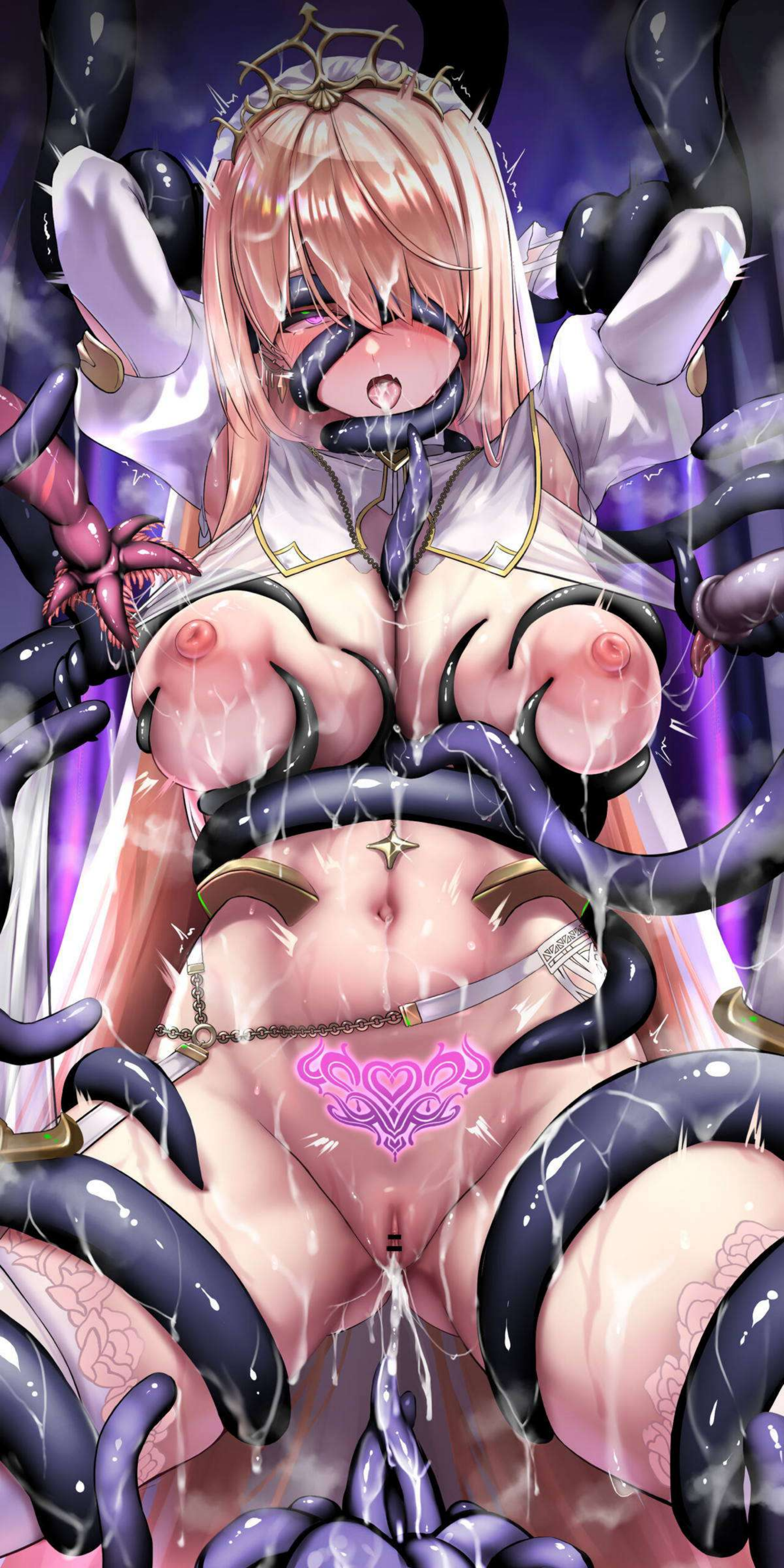
















いやはや導師様が
協力的で助かります

え……？

あれ？

その格好も
よくお似合いですよ
彼らも大層喜んでます

ありがとうございます
ございます……

なあと
取って食おうという
わけではありません

貴方の魔力が枯渇するまで
彼らを増やす手伝いを
していただきます

わかりました……

- ◆領主はニューイに催眠を仕掛けた
- ◆ニューイは混乱している
- ◆領主はニューイに淫紋の呪いをかけた

- ◆ 漂っていた触手が膣内に入り込む
- ◆ 淫紋の効果によりニユイの身体は容易く受け入れた

んおっ!?♡

おや?

すんなり
入りましたね

ほっ♡

よっ

よっ

ふん

ふん

少々軽減されて
いるようですが

淫紋の効果が
保たれているようで
安心致しました

おっ♡

ズル

ズル

にちゅ

にちゅ

- ◆ 触手は更に深く侵入するため
入口付近をほぐすように蠢いている
- ◆ 意識の乱れにより神々の加護の
効果が薄れ始めた

- ◆触手は催淫液を塗りつけながらニユイの奥へと潜り込む
- ◆淫紋との相乗効果で感度が更に上昇

んじいッ♡

ふ…深っ…!!
不快な筈なのに
体が勝手に…♡

とっくッ

ふー♡

ニユル

とっくッ

ふー♡

やばいやばい!!
耐えなきや!

意識が乱れたら
加護の効果が…!!

正気を保つのに
必死という
様子ですね

訪れた時の
勝気な表情が
嘘みたいですよ

ホ

フッ♡



ぐっほ

ぐっほ

- ◆触手の魔力吸収と性的刺激により加護の効果が更に薄れ続ける

- ◆触手がニューイの口腔内に侵入
- ◆喉奥に媚毒を流し込む準備を始めた



んもあッ!?

グッホッ

んー!!

おえッ!

べろ

ぐはあ

彼らの粘液は媚薬として
非常に優秀でして

これが中々高く
売れるのです

まあ強力すぎて通常は
薄めて使うのですが…

修練を積んだ導師様を
組み伏せるには
丁度良いでしょう

ドチュッ

ドチュッ

ずちゅっ

ずちゅっ

- ◆触手リップ、ヒトデ型触手が現れた
- ◆ニューイの乳首に狙いを定める
- ◆触手の一部が直腸へ侵入した

- ◆触手の一部がニューイの視界を塞いだ
- ◆全神経が快樂の為だけに集中するように誘導される

仲良くしてて
くださいね

ではまた後ほど

- ◆体内へ侵入した触手は絶えず媚毒を撒き散らしながら蠢動を繰り返す
- ◆ニューイの感度は極限まで引き上げられている



◆魔力の循環はとうに崩壊していた

◆加護は失われ催眠に抵抗する力は残されていない

◆その身に残された豊かな魔力を触手達に捧げる苗床へと成り果ててしまった

お疲れ様です
一段落ついたようですね

体を休めたらまた彼らと
遊んでもらいますよ

卵はもう産み付けましたが
正気に戻られては
幼体の育成に効率が悪いので

…聞こえてないか



- ◆数カ月後——
- ◆散々触手に弄ばれたニューイにはもう魔力は残されていない

媚びた仕草も随分
板についてきましたね

下品でも
綺麗ですよ

だぶん

だぶん

苗床としてはもう
使い物になりませんが

我々で責任を持って
面倒見ますので
安心して下さい

しゃん

しゃん

- ◆もはや催眠を振り解く事は不可能だろう
- ◆かつての快活さは欠片もなく
人格は大きく改変されてしまった

腕利きの白魔導師が
今や見る影もありませんな

そんな貴方に
ある画家の
金言を送ります

「聖職者って
堕ちるモノなんだよ」

がく

ふひひ

ポポ

がく

ゴクン

ゴクン

ブル

ブル

おっ

ほっ

ツク

ツク

フー

フー

刺

三



